



## 観光農園で 春の味覚が 楽しめます



イチゴやタケノコなど、今が旬の農産物が楽しめる農園を紹介しします。ゴールデンウィークまで楽しめます。

料金・営業日など詳しくは、各農園にお問い合わせください。

紹介する農園のほか、5月下旬までイチゴ狩りが楽しめる農園もあります。詳しくは、[千葉市観光農園](#)



編集担当T

**観光農園・農園直売所**

| 農園名              | 種類     | 期間            | 所在地・問い合わせ                      |
|------------------|--------|---------------|--------------------------------|
| 中台苺園             | イチゴ直売  | 5月上旬まで        | 花見川区長作町192-1<br>☎090-5311-3481 |
| 小川いちご園           | イチゴ直売  | 5月下旬まで        | 緑区平山町1042-21<br>☎291-1456      |
| 花沢いちご園           | イチゴ直売  | 5月下旬まで        | 若葉区中野町1123<br>☎228-1264        |
| 「わたしの田舎」<br>谷当工房 | レンゲ摘み  | 3月下旬～<br>4月下旬 | 若葉区谷当町70<br>☎239-0645          |
|                  | タケノコ掘り | 4月中旬～<br>5月下旬 |                                |

収穫時期は、生育状況により前後する場合があります。

☎市園芸協会 ☎228-7111 月曜日休業  
農政課 ☎245-5758 FAX245-5884

**レンタルハウスいちご園**

農園主が栽培・管理をサポートしてくれるレンタルハウスいちご園では、利用期間中いつでもイチゴの摘み取りが楽しめます。

**利用期間** 4月20日(火)～5月31日(月)  
**料 金** 1区画18,000円(イチゴ150株)  
**申込方法** 3月20日(祝)消印有効。往復はがきに必要事項のほか、希望区画数を明記して各農園へ。結果は、4月上旬までにお知らせします。

| 農園名      | 区画数 | 所在地・問い合わせ                                |
|----------|-----|--|
| 小川いちご園   | 38  | 〒266-0002<br>緑区平山町1042-21<br>☎291-1456   |
| 鈴木観光農園   | 21  | 〒266-0002<br>緑区平山町1049<br>☎090-3502-7666 |
| みつばちファーム | 35  | 〒266-0004<br>緑区平川町1292<br>☎090-3086-0330 |

**大草谷津田いきものの里自然観察会**

**虫さん、花さん、もう起きた？**

ガイドの解説を聞きながら、谷津田の自然や生き物と触れ合ってみませんか。

**日 時** 3月21日(日)10:30～12:00  
雨天中止

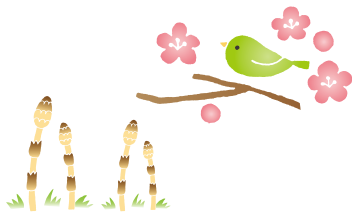
**会 場** 大草谷津田いきものの里

**定 員** 15人(小学3年生以下は保護者同伴)

**持 ち 物** 帽子、長靴、飲み物

**申込方法** 3月10日(水)必着。はがき(1通5人まで)に必要な事項のほか、参加者全員の氏名・フリガナを明記して、〒260-8722千葉市役所環境保全課へ。☎kankyohozen. ENP@city.chiba.lg.jp、FAXも可。

☎環境保全課 ☎245-5195 FAX245-5553



**泉自然公園カタクリガイド**

ガイドを受けながら、カタクリなどの野草、樹木を観察します。春の陽光を感じながら園内を散策してみませんか。

**日 時** 3月24日(水)～28日(日)  
10:00から、11:00から、13:30から(各回40分程度) 雨天中止

**会 場** 泉自然公園

**定 員** 各回先着15人

**申込方法** 当日直接駐車場内ビジターセンターへ。

☎若葉公園緑地事務所 ☎228-0080 FAX228-5421



**CHIBA CITY 100 温故知新 千葉を知る**

**二十一、発見から70年 友好と平和の象徴オオガハス**

1951年3月30日に植物学者の大賀一郎博士が、花見川区にある現在の東京大学検見川総合運動場の地中から、約2000年前のハスの実を発見しました。その奇跡の瞬間から、今年でちょうど70周年。



古代ハス発掘風景

開花に成功し、オオガハスと名付けられたこのハスは、1954年に千葉県天然記念物に指定されました。

1963年には、大賀博士直筆の「蓮は平和の象徴也」と書かれた墨書とともに、オオガハスの実100粒(うち50粒は千葉公園で採取した実)が友好と平和の象徴として中国へ贈られました。この実は北京、杭州など中国国内の10カ所で栽培され、大輪の花を咲かせました。その後、中国古代蓮と交配して作られた中日友誼蓮が、中国から日本に贈られました。現在、オオガハスは国内外およそ200カ所に分根、栽培され、友好と平和のシンボルとなっています。



大賀ハスまつり(象鼻杯体験)

1993年4月に市の花に指定され、2001年に制定された花見川区のシンボルマークには、花見川沿いの桜とともにオオガハスのフラワーピンクが使用されています。ハスの花が咲く初夏には千葉公園で大賀ハスまつりが開催されるなど、多くの市民に親しまれています。

☎都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476